

堂本印象
 交遊 1967(昭和42)年
 京都府立堂本印象美術館



The Possibility of the monochromatic drawings



交通のご案内
 JR京都駅より市バス50番、JRバス(立命館大学前経由)
 阪急電車烏丸駅より市バス12番、55番
 京阪電車三条駅より市バス12番、15番、59番
 JR町駅より市バス15番にて、いずれも「立命館大学前」下車

京都府立堂本印象美術館
 〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3
 TEL.075-463-0007 <http://www2.ocn.ne.jp/~domoto/>

●講演会
 6月29日(土)
 東寺の歴史と文化財
 新見康子(東寺文化財保護課長)

8月4日(日)
 墨の魅力～近代日本画における水墨
 榊原吉郎(美術評論家)

9月14日(土)
 京都の挑戦する日本画「共存と共有」
 ～岡村倫行と北野治男の場合～
 尾崎真人(京都市美術館学芸課長)

時間=14:00～15:30
 場所=1階ロビー

観覧料	一般	500円	400円
	高校・大学生	400円	320円
	小・中学生	200円	160円

●()は20名以上の団体料金
 ●65歳以上の方(要証明)および障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

—Insho's Sumie and Fusuma painting of Koshibo, Toji Temple

●ミュージアムコンサート・印象の作品に囲まれて
 7月7日(日) 黒川 侑ヴァイオリン演奏会 ～セタの夜に～
 9月21日(土) 長岡京室内アンサンブル音楽監督・森悠子 Presents
 弦楽アンサンブルジュネス演奏会
 入場料=2,000円(要予約) 時間=18:30 場所=2階展示室

●ロビーコンサート
 6月30日(日) 立命館大学マンドリン部演奏会
 8月17日(土) HANA★JOSS・ガムラン演奏&ワヤンクリ(影絵芝居)
 時間=14:00、15:00 場所=1階ロビー

●ギャラリーツアー
 6月22日(土)、7月20日(土)、8月24日(土)
 時間=14:00 場所=1階ロビー集合 ナビゲーター=山田由希代(主任学芸員)

●キッズワークショップ
 7月28日(日)
 小木曾登先生(東丘社)と
 堂本印象美術館をスケッチしよう!
 時間=10:00～12:00
 定員=20名(対象小学生・要予約)

●作品を語る
 6月16日(日) 岡村倫行
 8月25日(日) 北野治男
 時間=14:00
 ※催しに参加いただくには入館券が必要です。

2013.
 6.1 sat
 ↓
 9.29 sun

休館日=毎週月曜日
 [但し、7月15日(月・祝)開館・7月16日(火)休館/
 9月16日(月・祝)開館・9月17日(火)休館/
 9月23日(月・祝)開館・9月24日(火)休館]
 開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 主催=京都府、公益財団法人京都文化財団

◎企画展 モノクロームの可能性

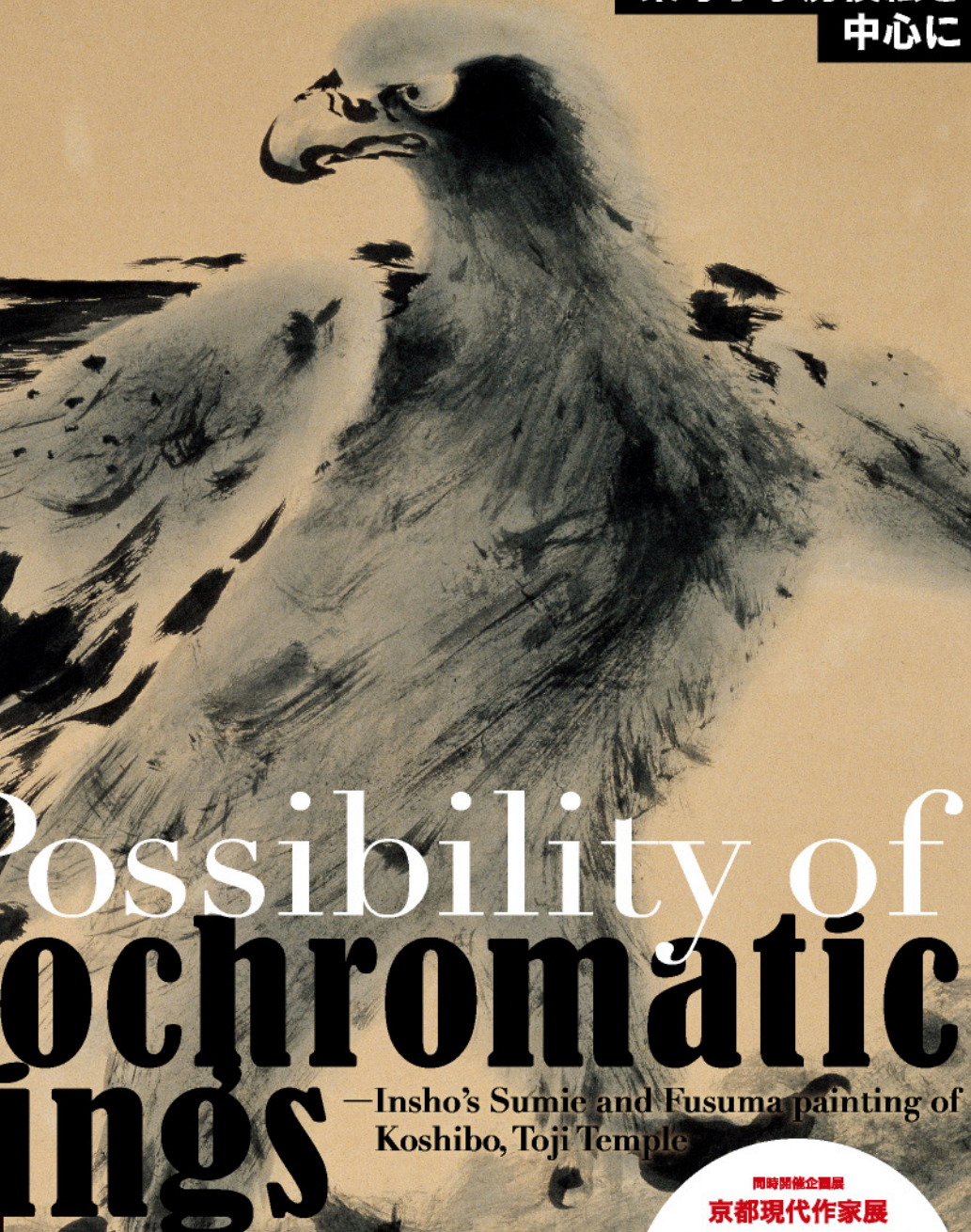
—印象の墨絵
 東寺小子房襖絵を
 中心に

The Possibility of the monochromatic drawings

—Insho's Sumie and Fusuma painting of Koshibo, Toji Temple

堂本印象は、約60年におよぶ画業において、東洋の古典に西洋的な表現を取り入れた具象絵画から、戦後の抽象絵画にいたるまで幅広い展開を遂げました。そのなかでも、印象は一貫して日本の伝統的な表現手段である墨を用い続けました。昭和初期の風景表現における巧みな墨使いはもちろんのこと、昭和30年代以降に挑戦しはじめた色彩豊かな抽象画においてもダイナミックな墨線が主要な表現として用いられるなど、印象の画業のなかで墨は大変重要な役割を担ったといえます。

本展では、東寺小子房の襖絵を中心に、具象から抽象にいたる作品の数々を展覧することにより、印象が描いた墨絵の多様な表現を紹介します。彩色画とは一味違う、妙なる世界をご鑑賞いただければ幸いです。



同時開催企画展
京都現代作家展
 日々照応
 岡村倫行展
 6月1日(土)～7月28日(日)

テネシーへの想い
 北野治男素描展
 8月2日(金)～9月29日(日)

堂本印象 東寺小子房「鷲の間」襖絵12面のうち1面(部分) 1934(昭和9)年

京都府立 **堂本印象美術館**
 KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS